

2024年3月期 第1四半期決算説明会

質疑応答要旨（ご理解いただきやすいよう、表現を変更している箇所があります。）

Q.第1四半期は総利益率が改善したが、今後のモメンタムについて教えて欲しい。

A.システム開発の受注残は前年同期比 9.0%増を維持しており堅調。総利益率については、予定している 7 月からの給与ベースアップの影響を除けば、第2四半期以降も堅調に推移すると見込んでいる。

Q.当第1四半期に発生した不採算案件は、第2四半期以降の業績に影響を及ぼすものか。

A.必要な対応は終えており、状況は改善している。したがって、第2四半期以降の影響はない見込みである。

Q.本田技研工業とのソフトウェア開発領域における戦略的パートナーシップについて、どのような変化が起きるのか。

A.現状のソフトウェア開発支援領域だけではなく、次世代電子プラットフォームのオペレーティングシステム、電動パワートレイン、先進安全・自動運転、IVI(インビークルインフォテインメント)などの領域において、より上流工程のところでは本田技研工業様と協業していくことを想定している。

Q.第1四半期を終えて、ガイダンス発表時点の想定との乖離が出た領域はあるか。

A.第1四半期においては、想定に対してマイナスのギャップはなかった。システム開発が好調に推移した中で、パートナー戦略が功を奏し、人材も順調に確保できたこともあり、想定していた業績よりも一定程度高い実績を実現できたと考えている。

Q. 第1四半期のシステム開発の受注高について、想定に対してどのような着地だったのか教えてほしい。

A. システム開発は、SAP案件を中心に伸びている。昨年から長期かつ大型案件が複数継続しており、引き合いも多くいただいている。また ERP に限らず基幹システム等の案件も多く引き合いをいただいております、受注動向は活況な状況。

Q. 7月以降の報酬水準の引き上げに伴う費用の発生時期について教えてほしい。

A.20 億円前半の費用を想定しており、四半期ごとに 1/3 ずつ計上される予定。

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報が掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

Q.ERP の売上実績について教えてほしい。

A.前年度73億円から今年度92億円と、約19億円増加した。ProActive については、全体の約20%が C4 関連の売上となった。

以上

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。